

2013年6月29日(土)

山陽新聞 7面

地方経済 2013年(平成25年)6月29日 土曜日

山陽新聞

経済政策で意見交換

山口財務副大臣 住民と車座トーク

岡山



「車座ふるさとトーク」で意見を交わす
山口財務副大臣(左端)

中国地方で初となる政府主催の「車座ふるさとトーク」が28日、岡山市内であり、山口俊一財務副大臣と地域住民が経済政策をめぐって意見を交わした。住民側は企業や農業関係者、大学生ら15人が出席。山口副大臣は、安倍内閣が推し進めている経済政策・アベノミクスを説明し、「デフレからの脱却を第一に取り組んできた。円高の是正などで景気回復への道筋は見えており、地方にどう波及させ

ていくかが課題」と指摘した。出席者からは「物価上昇が先行し、景気が上向いている実感が少ない」「消費税増税前に抜本的な行政改革が必要」といった意見が出た。山口副大臣は終了後、「農業衰退や高齢化といった中山間地域の抱える問題も含め、寄せられた意見を施策に反映させたい」と話した。ふるさとトークは安倍内閣の閣僚らが地方に出向いて2月から開いており、今回が14回目。山口副大臣はこの日、山陽新聞社(同市

北区柳町)を訪れ、松田正己専務らと懇談した。(太田知二)